第１回　泉佐野市総合教育会議　議事録

１．日　　時　　平成２８年７月１５日（金）午前１０時００分

２．場　　所　　泉佐野市役所５階　理事者控室

３．出席者

構　成　員	市　長	千代松　大耕
	教育長	奥　真弥
	委　員	北浦　秀樹
	委　員	南　一早枝
	委　員	畑谷　扶美
	委　員	山下　潤一郎
	委　員	中村　スザンナ
	委　員	赤坂　敏明

事務局及び関係職員

政策監（兼）市長公室長	道下　栄次
政策監（兼）教育部長	上野　正一
教育総務課長	樫葉　浩司
教育総務課教職員担当参事	茶谷　由孝
学校教育課長	辻　和彦
学校教育課学校指導担当参事	明渡　賢二
学校教育課人権教育担当参事	和田　哲弥
政策推進課長	松下　庄一
教育総務課長代理	北庄司　俊明
教育総務課主幹（兼）係長	森　昌俊

４．議　題

（１）道徳教育について

（２）土曜授業について

５．議事の経過

（午前１０時００分開会）

上野教育部長

定刻になりましたので、只今から平成２８年度第１回泉佐野市総合教育会議をはじめます。本日の会議の進行を務めます、教育委員会教育部長の上野です。よろしくお願いします。

本日の傍聴はありません。

開会にあたり、千代松市長からご挨拶をお願いします。

千代松市長

開会にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。本日は教育委員会の皆様方におかれましてはご多忙の中、本会議にご出席いただきましてありがとうございます。また平素から泉佐野市の教育行政の充実及び発展のためにご尽力を賜り、心から感謝を申し上げます。さて本会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、昨年度から設置が義務付けられ、教育委員会と首長が地域教育の課題に対してあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的としたものでございます。

この総合教育会議の場を活用いたしまして、教育委員の皆様と十分な意思疎通を図り、時代の変化や教育行政へのニーズの多様化とともに、深刻かつ複雑化する様々な教育課題に積極的に取り組んでいきたいと考えております。

本日は道徳教育と土曜授業の二つの会議事項を出させていただいております。教育委員の皆様方におかれましては忌憚のないご意見を賜りたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

上野教育部長

ありがとうございました。

それでは会議事項に入ります。次第に従い、２．道徳教育について、説明をお願いします。

辻学校教育課長

次第の２．道徳教育について説明します

昨日、泉佐野市道徳教育振興条例施行後、初めての泉佐野市道徳教育振興会議を開催しました。最初に会議の委員についてご紹介します。泉佐野市道徳教育振興会議委員名簿をご覧ください。条例の規定による教育委員６名の皆様に加え、教育に関して識見を有するものとして、赤木様、芝池様、谷口様が委員に就任しました。赤木様は、本市の前教育委員会委員長です。芝池様は、元大阪

府職員で、公益財団法人大阪府国際交流財団評議員として、本市の青少年海外研修事業研修生選考委員としてご協力をいただいております。谷口様は、元本市立小学校の校長先生です。

次に昨日開催しました会議についてご報告します。条例制定後、初めての会議でしたので、最初に委嘱状を交付し、会長、副会長を選任しました。互選により、会長には赤木様、副会長には北浦様が選任されました。その後、道徳教育振興条例、道徳教育振興会議にいて、説明をして、道徳教育の歴史、道徳の教科化、現在の学校の状況を、委員にご理解をいただいたうえで、会議の目的である道徳教育の振興を図るための市への提言について、議論をして頂きました。提言について、会議の中で出た主な意見を紹介します。１回目だったので、道徳教育の現状についての問題点を出し合う内容になっています。道徳教育について、道徳は、以前は家族生活の中から自然に育まれたものであったし、特別な教育を受けなくても身についたものであったが、核家族化の進行によって、家族にその機能が失われているのではないかという意見が出されました。また、教科書の導入に期待している。教科書があれば家庭で親も一緒に学べるのではないかといった指摘がありました。提言についても、簡単なスローガン、メッセージ的なもので良いのではという意見と、それだけで良いのか、みんなで様々な意見を出し合って案としてまとめれば良いのではないか。などの指摘もありました。また講演会や市報などを活用して、市民に考える機会を提供できないか、などのご意見も頂いたところです。今後につきましては第２回目の会議を10月から11月の時期に予定しており、また提言についてさらなるご意見を頂き、年明けに第３回目の会議を開催して案としてまとめ、その後、市に提言をしていきたいと考えております。本日会議の委員でもある教育委員の皆様と市長とが本市の道徳について意見交換をして頂き、次回の会議の参考にさせて頂ければと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

上野教育部長

ただ今の説明につきましてご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

無いようですので、続きまして、土曜授業について説明をお願いします。

明渡学校指導担当参事

平成２８年度の土曜授業の状況について説明します。土曜授業については、確かな学力の定着、豊かな人間性の育成などを推進するため、各学校における教育課程の編成が、ゆとりを持った計画のもとに実施されること、また開かれた学校づくりの推進をめざして、家庭及び地域との連携をいっそう深める事を目的として、今年の４月より取り組んでいるものです。土曜授業は毎月第4土曜日に行い、長期休業中を除いて今年度は合計８回実施します。授業時数は午前中の3単位時間、小学校だと45分×３、中学校だと50分×３ということになります。現時点では４月、5月、6月の３回を実施しました。資料2をご覧ください。1ページ目から順に４月・５月・６月の調査結果と、7ページ目は土曜授業に出席できなかった児童の理由についてまとめています。

1ページ目をご覧ください。土曜授業の内容は教科の学習が中心となりますが、授業参観やPTA総会など、保護者に学校に来ていただくような活動した学校もありました。次に欠席の理由ですが、「病気等」とあるのは、病気に加えて、家庭の事情や用件も含めた数字となっており、小学校全体で126名が欠席しました。「学校外でのクラブ、イベントへの参加」とは、ピアノの発表会やクラブチームの大会への参加などの理由で、18名が欠席しました。中学校については、「病気等」による

欠席が109名、「学校外のクラブ、イベント等」による欠席が13名です。「部活動の大会等で授業に出席できなかった生徒」は、学校のクラブ活動の試合等に参加した生徒数です。これが平日であった場合は出席扱いとなりますので欠席数には入れていないのですが、授業には出ていません。この授業に参加できていない人数を算入すると、合計164名となります。なお、どのようなクラブでこれらの大会が行われたかをまとめています。丸数字については学校数で、例えば「陸上部⑤」とあるのは、５校全てに陸上部があり、５校の陸上部が参加したという意味です。

続いて教職員の出勤状況です。育児や介護などの事情によって勤務しなかった教職員の数は、小学校６人、中学校４人となっています。また中学校では、21人がクラブ活動の試合等に生徒を引率して校内には不在となっています。２ページ目裏面をご覧ください。主に校長や教頭からの意見を「今回の土曜授業で気づいたこと」にまとめました。具体的には「本市では授業を行うこととなりましたが、泉南地区や大阪府下において公式戦がこれまで通り開催されているため、多数の生徒が授業から抜けています。このような状況下では通常の授業を進めることはできないので困っています」というご意見をいただいています。これについては、昨年の12月に中体連等に対して日程調整について配慮をお願いしていましたが、これらの大会は、会場の確保のために１年くらい前に日程が決定されているようで、なかなか変更していただけませんでした。来年度は泉佐野市が土曜授業をしていることが伝わっていますので、改善されると思っています。

３ページ目をご覧ください。土曜授業の内容ですが、上述の理由により授業を進めるのが厳しいという意見があったので、教科の授業を先に進めたのか、復習等を中心にしたのかを加えました。小学校では、先に進めたのが９校、復習・練習をしたのが６校です。全部で13校ですけども、学年によって進めた学年もあれば復習を中心とした学年もありますので、13を超えた数となっています。中学校では、進めたのが３校、復習・練習をしたのが２校、テストの時期と重なっていましたので、テスト返却を主にしたのが２校となっています。続いて５ページ目をご覧ください。「中学校の欠席及び出席できなかった生徒の状況について」の右側に、「入試関連」という項目を追加しました。これは今後、高校がオープンスクールなどの入試に関連したイベントを増やしていることへの対応です。６ページの「気づいたこと」ですが、保護者が講演会や行事等に参加しやすい点をメリットとしています。その反面、教職員・子ども共々、祭りなどの地域行事が土日にあった場合の問題点も指摘しています。土曜授業の翌日にドッヂボール大会があり、子供が２日全力を出し切って月曜日に疲れているという話を校長先生から直接聞いたりもしています。７ページをご覧ください。出席できなかった状況について、各月を比較したグラフを載せています。「病気等」による欠席は、小学校中学校ともに増加傾向となっています。なお中学校ですが、平日と土曜日を比較した場合、わずかですが土曜日のほうが欠席者数の増加率が高いことがわかりました。９月以降の状況を見守りたいと思います。中学校の部活動ですけども４月が164名と、多かったのですが、５月・６月と減少していく傾向にあります。これについても、９月以降の状況を見守りたいと思います。

上野教育部長

ただ今の土曜授業について、ご意見ご質問等ございませんか。

千代松市長

まだ始まったばかりなので色々と問題点はあるかと思いますが、次からこれらの問題点をどのよ

うに改善していくかという意見を、各校長に出させてください。

山下委員

クラブ活動の大会があるので欠席するというのはわかります。来年はほとんど改善されるということでした。ただ、子供らが土曜日・日曜日に全力を出し切って月曜日に疲れている、というのは疑問です。うちの子でも一晩寝たら元気になっています。また先生も、土曜日に出勤して月曜日は疲れているという記載がありますが、それでは2002年度以前の先生は皆疲れていたのかと思ってしまいます。道徳の話に戻ると、教職員として道徳観があるのか疑問を持ちます。また教育委員会としても、そのような発言をする教職員がいたら、注意していく立場にあると思います。

上野教育部長

市長のご意見もふまえて、次回の会議に向けて考えかたを整理する必要があろうかと思います。

北浦委員

先日学校訪問に行ったときに、土曜授業はどうですかってことをお聞きしたら、思ったより順調に推移しているとおっしゃっていたと思います。またここにあるように、保護者からも特に意見は出てない、これは保護者から不満の声も出てないと解釈できると思いますし、個々の問題については土曜授業が定着したら改善していくと思います。問題はクラブ活動の大会と重なって出席できないというところでしょうが、教育委員会から主催者へ、配慮を求められないのでしょうか。

奥教育長

去年も呼びかけています。クラブの公式大会だけではなく、各種スポーツ団体にも泉佐野市の事情をお知らせしていると聞いています。

山下委員

このような調査の場合は、普通メリットとデメリットを並行して指摘されているかと思いますが、これではデメリットばかりが並んでいます。教職員の意見だけではなく、保護者の意見も聞くべきではないでしょうか。保護者の目線からすると、間違いなくメリットが多いのにと思います。泉佐野市は、学力水準が低いなかで月一回の土曜授業の実施を選択したのですから。これが学力テストの成績向上に直結するか否かは別として、メリットもしっかり抽出して認識するべきだと思います。

上野教育部長

各校長先生の意見を徴収する際に、市長や委員からご意見があったように、メリットとデメリットを併記することや、問題点に対する改善方法を提示するといった観点が不足していた結果だと思います。次回からは、このような観点を明確にして意見徴収をする方向にしていけたらと思います。

明渡学校指導担当参事

申し訳ありません。上野部長の指摘の通りで、このような資料になってしまいました。９月以降は、その観点を踏まえてまた資料を集めたいと思います。それから保護者、子どもについてもアン

ケートを取るような方法で公正に判断できるような資料を作っていきたいと思います。

赤坂委員

メリットとデメリット、どう改善したらデメリットを解消できるか、この三点ですね。それから土曜授業については大阪府下でもまだ４つの自治体しか採用していない、泉南地区に限れば泉佐野市だけですから、他の自治体からすれば泉佐野市に付き合っていられないという側面があるのでしょう。ですから、国や府が各自治体に対して土曜授業に協力してもらうよう、指導してもらう必要がある。先行して実施している自治体が不利益をこうむるような事態は避けていただきたいです。

畑谷委員

クラブ活動の大会などの理由で授業を抜ける子供たちが多い間は、授業を進めるのではなく、もっと復習に時間を取るのが良いのではないかと思います。そうやって子供たちの成績が上がるように努力すれば、泉佐野市は土曜授業を実施して成績が上がったということになって、他の自治体も土曜授業を採用するようになれば、この問題は解決すると思います。ですから、授業を進めるのではなく、せっかく３時間あるのですから、復習を重視して行うのも一案かと思います。

上野教育部長

今いただいたご意見について、事務局からなにかありませんか。

辻学校教育課長

土曜授業がスタートして１学期が過ぎました。市長や委員のおっしゃったように、メリットとデメリットの双方を抽出すべきでしたし、問題点があれば改善点をセットで考えるのが当然なのですが、私供も改善点を踏まえた指導を、各学校にどのようにしていくべきか、模索している段階で、明確なお答えが用意できてない状態でしたので、学校側の生の声をお出ししたところです。当然、問題点が未解決なままで良いわけはなく、本日いただいたご意見を参考にしながら内部協議を進めたいと考えています。３×８＝24時間はかなり大きい時間数でございますので、例えば平日ではできない事を土曜日にするとか、時間の使いかたを工夫して指導していきたいと考えていますので、今後ともご協力をお願いします。

上野教育部長

他にご意見ございますか。

中村委員

大阪府下の４つの自治体で土曜授業が行われているということでしたが、それぞれの時間数や内容はどのようなものでしょうか。

明渡学校指導担当参事

大阪市が年間最大６回です。枚方市は回数を決めずに、また八尾市は年間３回行っているという情報は得ていますが、詳しい情報については得ていません。申し訳ありません。

赤坂委員

平日の授業数はそのままで、土曜授業の分だけ時間数が増えているパターンと、平日の授業数を減らして、土曜授業を行っても時間数の増減がないようにしているパターンがあると聞いているのですが、実態はどうですか。

茶谷教職員担当参事

土曜授業については、赤坂委員ご指摘のように、土曜授業の３～４時間の時間数を増やすことによって、子どもたちの学力向上や地域連携に活用していくというのがねらいです。また、大阪府教育庁は、府立学校及び支援学校の土曜授業について、大阪府教育庁が必要性を認めて実施しているという位置づけになります。市町村教育委員会については、それぞれの市町村教育委員会が土曜授業の必要性を認めて実施しているということになります。なお、大阪府下の市町村では採用率は低いのですが、全国的にみると、平成２６年度の調査では、月一回実施をしている学校が、小学校で43%、中学校で41%となっています。データはありませんが平成２８年度現在では、さらに増えていると思われ、今後、土曜授業はひとつの流れになっていくのではないかととらえています。

山下委員

泉州地域では、泉佐野市以外の自治体で土曜授業の採用の動きはないのですか。

茶谷教職員担当参事

採用が決まっているということではないのですが、和泉市と熊取町から問い合わせはありました。

山下委員

市長同士でこういった話すことはありますか。

千代松市長

教育再生の首長会議では、下村前文部科学大臣が、教育行政を進める上で、ポイントとなる施策の最初に出てきたのがこの土曜授業でした。大阪府というより全国的にみて、文科省が推進している流れじゃないのかなと認識しています。

茶谷教職員担当参事

中教審等で、子どもたちの生活実態が浮き彫りになってきまして、土曜日に何もしない子どもたちが増えているのではないかという意見がありました。習い事やスポーツ教室などに通ったりとかする子もあるのですが、ゲームをしたり、友達と家で遊んでいるという子も多くて、その時間を有効に活用することを目的として検討されたのが土曜授業であるとも聞いております。

奥教育長

文部科学省としては、土曜日の教育活動の推進の一環で、学校の授業もその一つではありますが、地域で様々な教育活動を行うことなども含んでいます。ゆとり教育の時代には、子どもたちを地域

でゆとりを持ってみて行きましょうというようなことも言われましたが、学力の低下という現実的な問題も出てきたために、今回の流れになってきていると思います。ですから、学校と地域が様々なかたちで連携して、授業ももちろんですが、地域の人々に学校に来てもらって行事をおこなうとか、地域全体で教育活動を活性化していくという視点が大事かと思います。

南委員

誰でも生活のリズムを崩されると反発すると思います。先生方の立場からすると、今まで休日だった土曜日が勤務日になって、そのタイミングで感想を訊いたらデメリットばかりが並んだという事だと思います。これも慣れてくれば徐々に変わってくると思います。私たちは土曜日に学校に行くのが当たり前の世代ですから、土曜日の授業も何の抵抗もなく受け入れられていました。ただ、一定数の生徒がクラブ活動などで欠席せざるを得ないのであれば、教科の授業を進めるのは、今度は補習などをする必要が発生して、逆に保護者からクレームがくるのではないかと思います。先生も引率で出張するので少なくなってくる状況で、しばらくは授業を進めるのが難しいのであれば、先生を補充することはできないのでしょうか。

上野教育部長

三点の指摘がありました。一点目　教職員が土曜日に勤務する事の代休の件、二点目　土曜授業の内容について、三点目　クラブ活動で引率する教職員が増えるなかで土曜授業がしっかりできているのか、できてないとすればそれを補完する人員配置ができないか。

茶谷教職員担当参事

一点目ですが、土曜授業によって、子どもたちの登校日は確実に増えますが、教職員については割り振りという形をとっているので、勤務時間は変わりません。ただ、先程ご指摘のあったリズムが崩れるという問題があって、教職員から不満の声が出たのかと思います。しかし、徐々にでも慣れれていくでしょうし、また、昨年度までは土・日が完全に休日だったかというとそんなことはなくて、小学校の場合は日曜日に運動会があったり、日曜参観があったり、学校によって地域行事を土曜日に入れることに伴って、教職員が出勤しているということはありましたので、土曜授業をはじめたからといって、急激な変化があったわけではないととらえています。

上野教育部長

授業の内容について、教科の授業を進めて行くところと復習をやっているところがあるという、そのあたりの考え方とかありますか。

明渡学校指導担当参事

クラブ活動の一環で授業を抜ける者がいる以上、彼らをほっておいて教科の授業を進めるのはいかがかという課題もありますので、内部協議して学校にも指導していきたいと考えております。

山下委員

今年はクラブ活動の大会などの日程が決まっていたということがあって、授業を抜ける子が多か

ったようですが、来年からは改善されるということですから、教科の授業を進めることのできる環境になっていくのではないかと思います。

千代松市長

今後、泉佐野市教育委員会が土曜授業の実施に伴う問題点を把握しているのですから、これらを広域的に共有していくことが可能になるということもある。大阪府教育庁も土曜授業を実施していて様々な問題点もあると思いますので、大阪府として土曜授業を採用している自治体も複数あるのですから、それにも配慮したという言葉を伝えたうえで、他の自治体にも、もう少し広域的な視点で挑戦していくように指導するような要望をしていく必要もあるんじゃないかなと思っています。

赤坂委員

高等学校のオープンキャンパスですが、大阪府教育庁から土曜日を避けて日曜日に実施するように指導すれば、土曜日に行事を入れる高校が少なくなります。そのような努力は必要でしょう。

上野教育部長

市長と赤坂委員からご意見に対して、大阪府教育庁に対してこういう事を申し出ていくという事でよろしいですか。

赤坂委員

土曜授業のねらいのひとつとして、地域との連携を深めて、教育の中で実践していくという項目がありましたが、例えば授業参観は地域も含めた教育活動と考えられますが、土曜授業でこれを行うのは、従来行っていたことを第四土曜日に持ってきたというだけの事ですから効果的には相殺されます。他の地域との関わりを活かした教育活動が展開されるのか、期待したいと思っています。

上野教育部長

有難うございます。土曜授業は９月からまた始まりますが、この会議で出た論点を踏まえて、学校側とも協力していくという事でお願いします。これを持ちまして第一回総合教育会議を終了いたします。長時間にわたり有難うございました。

（午前１０時５０分閉会）